

# G X 戦略地域制度への 公募申請の概要について

川崎市臨海部国際戦略本部

 KAWASAKI CITY

---

# GX戦略地域制度について

---

- **産業資源であるコンビナート跡地等**や地域に偏在する脱炭素電源等を核に、**自治体や企業の発意で「新たな産業クラスター」の創出を目指す制度**
- 地域選定を行う①～③類型と、事業者選定を行う④類型に整理され、**自治体や企業の相当なコミット及び計画への参画を前提**として、国が産業クラスターの形成を**支援と規制・制度改革の一体措置でサポート**

## 「GX戦略地域制度」の類型

**地域選定**

### ①コンビナート等再生型

コンビナート跡地等を有効活用し、産業クラスターを形成



**地域選定**

### ②データセンター集積型


電力・通信インフラ整備の効率性を踏まえたDC集積及びそれを核とした産業クラスターを形成



**地域選定**

### ③脱炭素電源活用型 (GX産業団地)

脱炭素電源を活用した団地を整備し、当該電源を核とした産業クラスターを形成



**事業者選定**

**④脱炭素電源地域貢献型**  
(脱炭素電源を活用し、当該電源の立地地域に貢献する事業者の設備投資を後押し)

## ● **コンビナート等再生型の概要**については、次のとおり

<b>ア</b> 支援対象	<p><b>GXの新技术の事業化を導出</b>するための以下のような取組に対して支援を行う</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①ベンチャー企業等の育成やスケールアップを支援する拠点を整備し、運営する取組</li><li>②新技术の開発や試作量産等に必要な共用設備を整備し、拠点に立地する企業等に利用提供する取組</li><li>③電気や水、ガスなど産業インフラを整備し、拠点に立地する企業等に供給する取組</li><li>④これらの取組を行う土地整備に関し、<b>不要な設備撤去等</b>の用地転換の取組</li></ul>
<b>イ</b> 申請主体	<p><b>都道府県又は政令指定都市</b> また、市区町村や民間事業者との連名（コンソーシアム等）で行うことも可 （※申請は都道府県又は政令指定都市となるが、財政支援等の対象は民間事業者）</p>
<b>ウ</b> 選定要件	<p>革新性、経済性、インパクトを伴う競争力の高い計画であること等（後述の10要件） ➡ <b>また、制度活用の前提条件として…</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>① <b>既存施設や産業インフラなどコンビナート跡地等を最大限有効活用（改築含む）</b></li><li>② <b>自治体の一定の負担を含む関係者のコミット</b> （コミットの手法として、拠点全体をマネジメントする法人の設立・出資等による運営費負担等を想定）</li></ul>
<b>エ</b> 主な支援	<ul style="list-style-type: none"><li>① <b>既存設備の転換支援、その他インフラ整備支援</b></li><li>② <b>用地転換支援（設備撤去等）</b></li><li>③ JETROと協力した投資呼び込み</li><li>④ GX推進機構による金融支援等</li><li>⑤ <b>規制・制度改革</b>（国家戦略特区と連携）</li></ul> <p>▶ <b>公募申請の内容に応じて 具体の支援策が検討される</b></p>

## ● 選定要件については、**次の10要件**のとおり

### インフラ整備

- ① コンビナート跡地などの土地利用転換等により、**GX産業創出拠点としての大規模な産業用地を有している**、又はその整備を行う計画を有している

### 競争力強化

- ② GX新産業の創出に向けて、**全体構想が、革新性、経済性／実現可能性、インパクト**を兼ね備えている
- ③ それぞれの**個別プロジェクトについて、革新性、経済性／実現可能性、インパクト**を兼ね備えている
- ④ 全体構想及び個別プロジェクトにより、地域および日本経済へのインパクト、事業としての成長率が見込める
- ⑤ 本事業全体のコーディネーターとなる企業や、金融機関又は投資家、エコシステム形成をサポートするインキュベーター等との連携が取れ、**スピード感と収益性を有する事業体制が構築**されている
- ⑥ BCPの観点から、持続的なサプライチェーンが構築されている

### 脱炭素

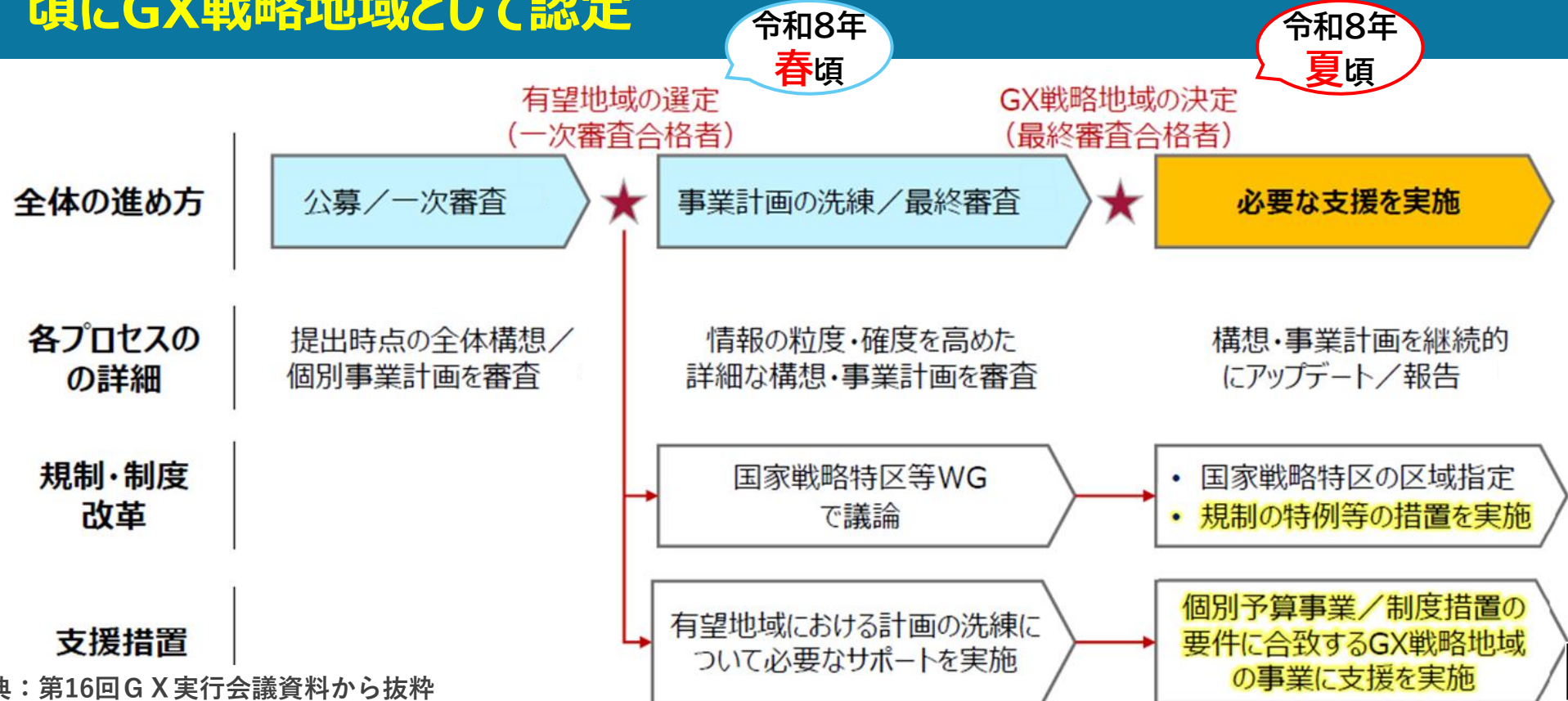
- ⑦ 新たに生まれるGX産業が脱炭素化につながるものであること

### 地域連携

- ⑧ 自治体やステークホルダーが、地域全体の事業方針・計画を策定し、自主財源を活用した地域自身の取組や用地取得、地域との連携等について、コミットメントを行っている
- ⑨ 国内外学術機関との提携や海外市場展開等、イノベーションの社会実装等に資する取組の計画を有している
- ⑩ 国家戦略特区に指定されている、または指定に向けた提案の準備があるなど規制・制度改革に積極的である

# GX戦略地域制度の概要④

- 選定プロセスについては **2段階審査方式**
- 1次審査として、**令和8(2026)年4月24日に、川崎市を含む6地域が有望地域として選定**（経産省HPにて公表）
- 計画の洗練等を経た後、熟度が高まった地域については、**令和8(2026)年夏頃にGX戦略地域として認定**



---

# 公募申請の概要について

---

## 申請者

川崎市、JFEホールディングス(株)、川崎臨海部GX戦略推進コンソーシアム

▽  
コンソーシアムは、個別事業を行う企業、金融機関、VCなどにより構成

## 申請エリア

川崎臨海部 約2,800ha

▽  
川崎臨海部全体を見据えて、大規模土地利用転換エリアを中心に事業を実施

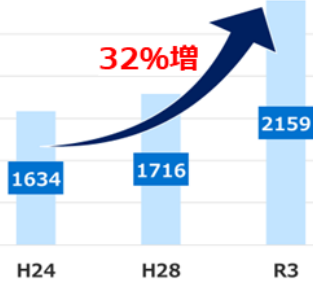
### 申請エリアの区域図



# 概要 -川崎市の特長・ポテンシャル-

- 川崎市は産業都市として発展し、大企業の製造・R&D機能が多数立地するなど**550以上の研究開発機関が立地**するとともに、市では**イノベーション拠点形成に関する土地利用転換の取組をこれまでも実施**

## 学術研究機関の集積



学術研究・専門・技術サービス事業所数が大きく増加

## 人口数が増加基調



## 新川崎・創造のもり

### JR操車場からの転換実績②

産学官の連携による新しい科学・技術や産業を創造する研究開発拠点の形成等を目指し、段階的な施設整備を推進

### <拠点の更なる発展に向けた取組>

次の100年を見据えた我が国の成長をけん引する科学技術振興と新産業創造の拠点へと更に成長、発展させるため、慶應義塾大学K<sup>2</sup>タウンキャンパスの機能更新を通じ、**量子イノベーションパーク**の実現に向けて取り組んでいる。



NANOBIICに設置されたIBM製の量子コンピュータ



**かながわサイエンスパーク (KSP)**  
 レンタルラボやインキュベーション機能を備えた1989年開設のサイエンスパーク

**殿町国際戦略拠点 キングスカイフロント** **いすゞ自動車工場からの転換実績①**  
 UR都市機構と連携し、羽田空港との近接性と国際戦略総合特区制度の活用により、成長産業である**ライフサイエンス分野の国際拠点**を形成

**工業都市 川崎の中心**

# 概要 -川崎臨海部の特長・ポテンシャル-

## 川崎臨海部基礎データ

面積	約2,800ha
事業所数	約2,700
従業者数	約71,000人
製造品出荷額	約2.5兆円(市全体の約7割)
基幹的産業	石油・化学、エネルギー、 港湾物流、鉄鋼

品川駅(13km)

首都圏中心地  
一大消費圏内、  
陸海空の結節点を持つ優位性

マテリアルとケミカルの  
両プラリサイクル施設  
炭素循環型産業の  
一大集積エリア

羽田空港(5km)

東京都

化学・エネルギー産業の  
マザー工場集積  
豊富な技術・研究開発人材及び  
国内外人材との交流、石油精製  
用パイプライン活用等

新川崎駅(5km)

川崎駅(3km)

南渡田地区

池上町・扇町・  
水江町地区

大水深岸壁

川崎市

JFEスチール(株)製鉄所  
(南渡田、扇町、池上、水江、扇島)  
**400haに及ぶ  
大規模土地利用転換**

工業地域・工業専用地域

高い自由度を有する  
広大な敷地を活用可能

扇島地区

製鉄用発電所

固有の有用資産

国内屈指の大水深岸壁、  
製鉄所用発電設備の活用

液化水素受入供給拠点  
国内最大級の供給拠点整備  
による水素関連産業の立地

横浜市

市境

## 国におけるGX2040ビジョン・GX戦略地域制度の内容

### GX2040ビジョン

「GX産業立地」「新たなGX事業の創出」「サプライチェーンの高度化」「GX市場創造」「中堅・中小のGX」等

### GX戦略地域制度を通じたGX産業クラスターの創出 -中間とりまとめ-

コンビナートはインフラが整う「貴重な資産」であるものの、有効活用しきれていないケースも存在。一方、GX事業の担い手はスケールアップする拠点不足が課題。この両者を繋げ、GX型の産業クラスターの形成を目指す。

高い親和性

## 本市が認識している社会背景/課題

- ▶ 気候変動対応と経済成長の同時実現を図る**産業転換の促進と国際的な産業競争力の向上が必要**
- ▶ これらの目標達成には、**新たな企業との連携や新技術の育成が必要**
- ▶ **新産業創造をリードするスタートアップにとって、スケールアップするための産業用地が不足**

大規模土地利用転換を推進中

本市の強み：既に大規模土地利用転換による拠点形成等の取組を推進中

- ①立地特性やスケールメリットを生かした次世代GX産業集積に向け**基幹的インフラや次世代インフラの整備**を推進  
→既に国内最大級の液化水素受入供給実証拠点の整備に着手済
- ②GX技術の社会実装に向け、GXの担い手が求める**スケールアップ機能を有する新産業拠点形成**を推進  
→既に大規模R & D施設の整備に着手済

本制度を活用し、更なる民間投資の呼び込み、早期事業化を実現

大規模土地利用転換エリアを中心に、首都圏GX化の起点となる**産業集積**を図るとともに、GX化を支えるインフラ整備や社会実装に必要な**機能整備**によって**バリューチェーン**を構築し、**世界で戦える次世代GX産業**を創出

# 概要 -川崎臨海部全体の将来ビジョン図-



## 日本の成長戦略を担い、世界と戦える次世代GX産業の創出を目指す

取組の柱

- ・ 世界でも稀有な、一気通貫のグローバルスケールアップ拠点の形成
- ・ あらゆる戦略分野の集積も可能とする次世代GX産業集積拠点の形成
- ・ 首都圏のGX化の起点となる広域ネットワークの構築

土地利用転換エリアの地区ごとのポテンシャルを活かした取組の推進

南渡田地区  
(52ha)

土地利用の先鞭として、  
「GXスケールアップ拠点」を整備

取組1 第I期地区として大規模R&D拠点の整備 **事業中**

取組2 既設工場建物を活用したスケールアップ拠点の整備、産業インフラ整備

取組3 拠点運営を担う運営法人設立・エコシステムの形成

取組4 拠点の機能拡張、都市基盤整備等

扇島地区  
(280ha)

広大な敷地と立地優位性を高めるインフラを活かし「首都圏最大級の次世代GX産業集積拠点」を整備

取組1 次世代GX産業を支えるインフラとして液化水素受入・供給拠点、高度物流、港湾物流拠点等を整備 **事業中**

取組2 脱炭素と日本の成長に繋がる、あらゆる戦略分野に関連した次世代GX産業の立地誘導

取組3 次世代GX産業の立地に向け大型構造物・インフラを段階的に撤去し、広大な産業用地を整備

その他川崎臨海部  
(池上町・扇町・水江町地区他)

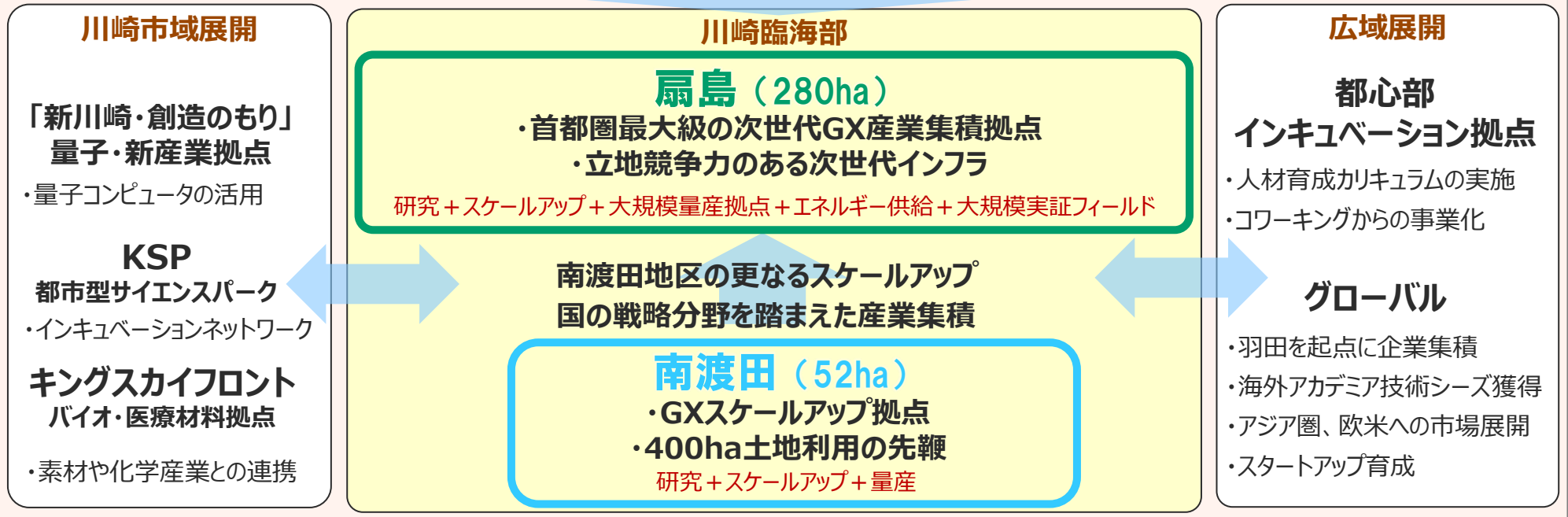
首都圏に近接したコンビナートにふさわしい資源循環の実現

取組 廃プラスチックなどの資源循環の高度化

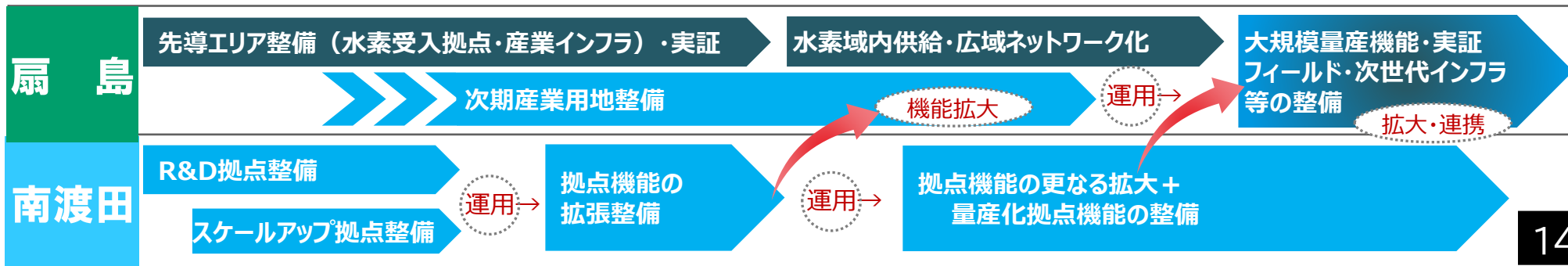
川崎臨海部/首都圏への水素やクリーンエネルギーの供給

取組 次世代GX産業の創出、クリーンエネルギー供給等における水素の利活用

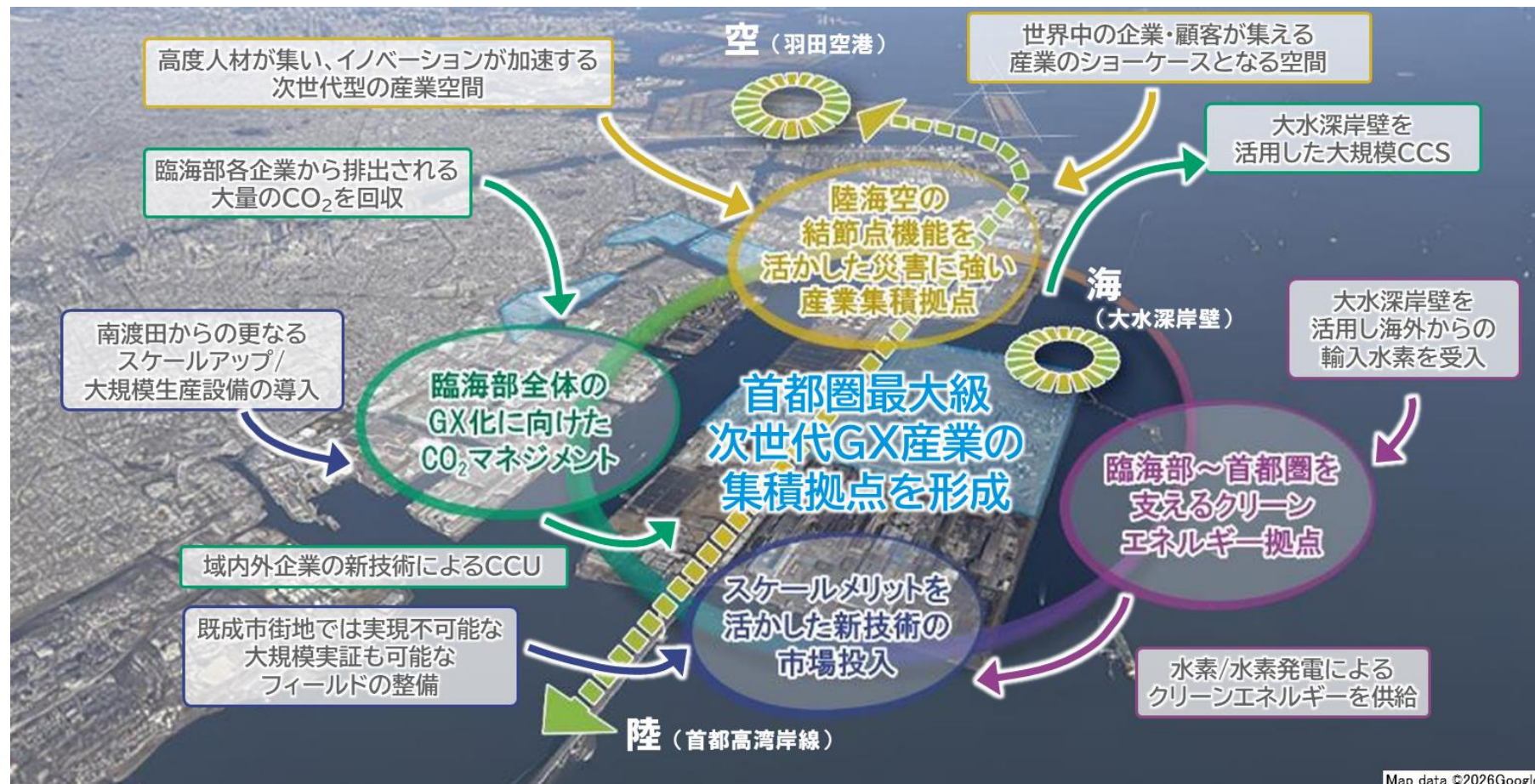
**エネルギー・資源等のGXサプライチェーン構築**  
 羽田空港への水素・SAF等の供給、神奈川県域への水素等グリーンエネルギー供給、オフテイクの確保



## 南渡田地区から始まるシームレスな次世代GX産業集積拠点の形成



- 扇島地区では、広大な敷地を活用し、日本の成長を牽引する大規模な次世代GX産業集積拠点の形成をコンセプトに、既存構造物を段階的に撤去しながら、次世代インフラの導入や地理的ポテンシャルの活用により、次代の柱となるあらゆる戦略分野のGX産業の集積に向けて取組の検討及び企業誘致活動を推進



## 次世代GX産業

- **カーボンニュートラルの実現** ■ **日本の成長の牽引** につながる  
**次代の柱** となる **あらゆる戦略分野のGX産業** を扇島に集積

## 次世代インフラ

製鉄所設備の有効活用と次世代インフラの導入で、次世代GX産業を支えるインフラを構築

### GX・エネルギーインフラ

水素、グリーン発電 等

### デジタルインフラ

AIインフラに不可欠な  
データセンター

### モビリティインフラ

道路、大水深岸壁  
高度物流・港湾物流

### イノベーションインフラ

オープンスペース（実証  
フィールド）、交流施設等

### 防災インフラ

災害時はフェーズフリーで防災拠点機能を発揮し、首都圏の安全確保に寄与

## 地理的ポテンシャル

- 約280ha、首都圏随一の広大かつ転換可能な工業地帯
- 首都高、京浜3港、羽田空港を至近で利用できる陸海空の充実した物流網
- 川崎臨海部には化学・エネルギー産業が集積
- 周辺には、南渡田、殿町、新川崎など多くの研究開発拠点が集積

- 南渡田地区では、素材産業における**研究開発から試作・量産まで一気通貫のスケールアップ拠点**の形成をコンセプトに、取組の検討及び企業誘致活動を実施

## 南渡田地区 Concept

原料調達、研究開発、試作、生産までを

**一気通貫**で実現する**スケールアップ拠点**

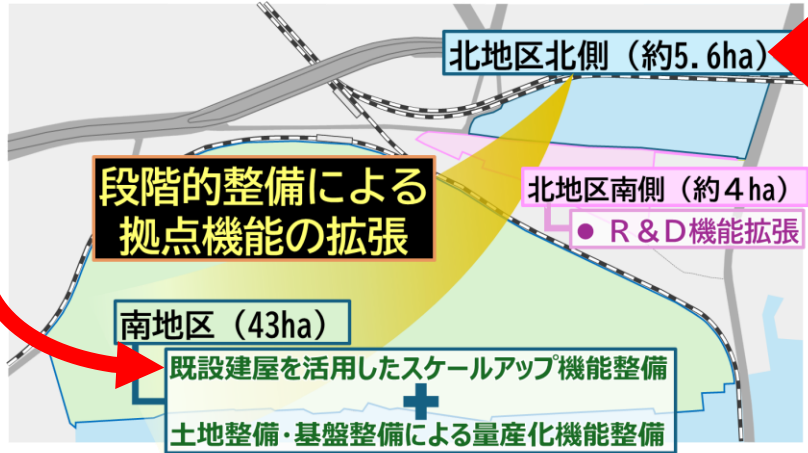


# 概要 -南渡田地区関係 [段階的拠点整備]-

- 北地区北側では、ヒューリック(株)が**首都圏最大規模の賃貸型R&D施設**を整備しており、**令和9（2027）年度**に竣工予定
- さらに、南地区の既存工場建屋を有効活用することで、R&D拠点の**研究成果を迅速にスケールアップ**できる拠点を整備するとともに、活用困難な資産の解体撤去、開発も進め、**量産機能も含めて段階的に拠点機能を拡張整備**



南地区の既設工場建屋群



ラボ機能の集積による研究開発拠点の形成

I期地区：北地区北側 (約5.6ha)

事業パートナー：ヒューリック株式会社

まちびらき：2027年度

約10万㎡の大規模賃貸R&D施設

多様な研究ニーズに対応できる設備使用

研究棟A 研究棟B 研究棟C 商業棟

コミュニティ棟 研究棟

オープンバージョンの創出に向けた交流の仕組みづくりを推進

快適な就業環境の創出に向け、商業機能を整備

スケールアップ・社会実装の確度を高めるため、国内外のプラットフォームやインキュベーターとの連携について調整中



新川崎		殿町	
	創造のもり		キングスカイフロント

首都圏を中心とした国内スタートアップ拠点

海外スタートアップ拠点・エコシステム

- 国内外プラットフォーム等々の**専門的な伴走支援、SIP成果やデータ・AIインフラ活用**により、次世代GX産業の社会実装の確度を高め、本格的な市場獲得フェーズに移行した場合は、**扇島等における更なるスケールアップ**を支援

## 南渡田GXスケールアップ拠点での社会実装加速

- 国内外の次世代GX産業スタートアップの育成(TRL5~7を起点)
  - BRL・TRL・HRLの向上
  - 顧客としての事業パートナー獲得国内外投資家からの資金調達実現

## 本格的市場獲得

- 国内外の市場獲得へ向けた本格量産と事業拡大

